



第2回 EZOnoIKI 2026

線 味 三 と 談 講 会 聴 く を

第一部 講演 | バズる仕掛けは江戸にあった
- 現代広告のルーツを探る -

令和8年 **9/9** (水)
開演 18:30 開場 18:00

出演者 (登壇順)

第一部

坂口 由之 / 広告史研究家

第二部

こうの 紫 / 唄・三味線

田辺 鶴遊 / 講演

会場 | **ザ・ルーテルホール**

札幌市中央区大通西6丁目3-1

前売 3,800円

当日 4,500円

税込・全席自由

チケット
購入は
こちら
(9/7迄)



Presented by
世栄
ほくどう
蝦夷前
そばと豚井

お問い合わせはこちら

011-280-2587

EZOnoIKI 2026 実行委員会

(株)エフビーエス:久富(くとみ)

蝦夷前そばと豚井 北堂
北18条本店

札幌市北区北17条西4-2-20
ライオンズマンション北大前 1階

011-374-8883

蝦夷前そばと豚井 北堂
新千歳空港店

千歳市美々 新千歳空港
国内線ターミナルビル3階

0123-25-5457

講談と三味線を聴く会

出演者プロフィール



たなべ かくゆう
田辺 鶴遊 / 講談

名古屋生まれの静岡育ち。昭和55年、芸能社経営の父のもと芸能活動開始。昭和61年、フジ系「タやけニャンニャン」木曜レギュラー。同年、ヒゲの講談師、田辺一鶴に師事。昭和62年、田辺チビ鶴の名前で上野本牧亭で初高座、各マスコミで話題に。平成14年、東海大大学院中退後、講談協会にて前座修業開始。平成21年、師匠没後、宝井琴梅門下。平成27年、真打昇進し田辺鶴遊を襲名。日テレ系「ニュースエブリィ」特集コーナーのナレーションを担当し継続中。今年、芸能45周年記念公演を故郷静岡で開催。

◎演目は、古典から創作まで多数。自作の後藤新平伝と、新島襄物語(函館の密航)はNHKラジオ深夜便で放送され好評。

◎寄席、イベントへの出演はもとより、各種団体での講演も評判。

◎北海道では、十数年前よりほぼ毎年道内各地を巡業。札幌でも、蕎麦の北堂など多数の講談会が開催されている。



ゆかり
このの 紫 / 唄・三味線

札幌市生まれ。中学より長唄を今藤長三四氏に師事。現代曲・端唄・小唄などお座敷唄を山本ゆきの氏に師事。現代邦楽研究所卒業。女子美術大学大学院・修士課程美術研究科修了。

「紫の會(ゆかりのかい)」主宰。音緒乃会所属。

女三味線弾き「ねのいろ」メンバー。

お茶の水女子大学付属中学校三味線講師。札幌にて「細棹三味線研究会」、東京・京橋にて和楽器教室「ねのいろランド」を開講。東京国際映画祭のオープニングアクトを務める等、映画、ミュージックビデオ出演、国内外にてコンサート、ライブ活動を行う。全国各地の教育機関や地域団体等にて三味線講習会や後進指導も積極的に行っている。



さかぐち よしゆき
坂口 由之 / 広告史研究家

広告史研究家／元アドミュージアム東京・学芸員／日本広告学会会員

1947年 北海道生まれ

多摩美術大学卒業後、(株)電通入社 北海道支社クリエイティブ勤務。クリエイティブディレクターを経て'97年電通本社／広告美術館プロジェクトに参画・開設準備業務。2002年「アド・ミュージアム東京」の開館後は企画学芸室長として収集・展示・教育・講演活動に携わる。

2022年退職後も広告史研究、および講演活動を行う。

◎著書『江戸の広告作法—えどばたいじんぐ』2020年刊

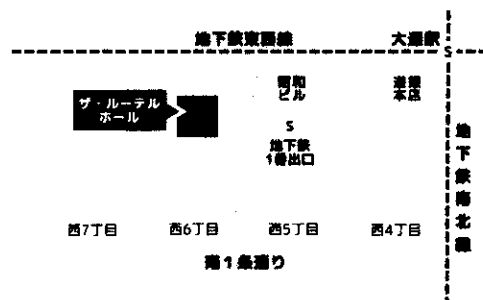
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団発行

江戸の町人文化に息づく「粋」「洒落」「遊び心」に着目し、人の心を動かす広告やコミュニケーションの知恵を研究。江戸の賑わいと商売繁盛を支えた広告の工夫や発想について、大学・企業・団体等で講演を行っている。

チケット購入はこちら
(申込締切：9/7)



<https://ezonoiki20260909.peatix.com>



ザ・ルーテルホール
札幌市中央区大通西6丁目3-1